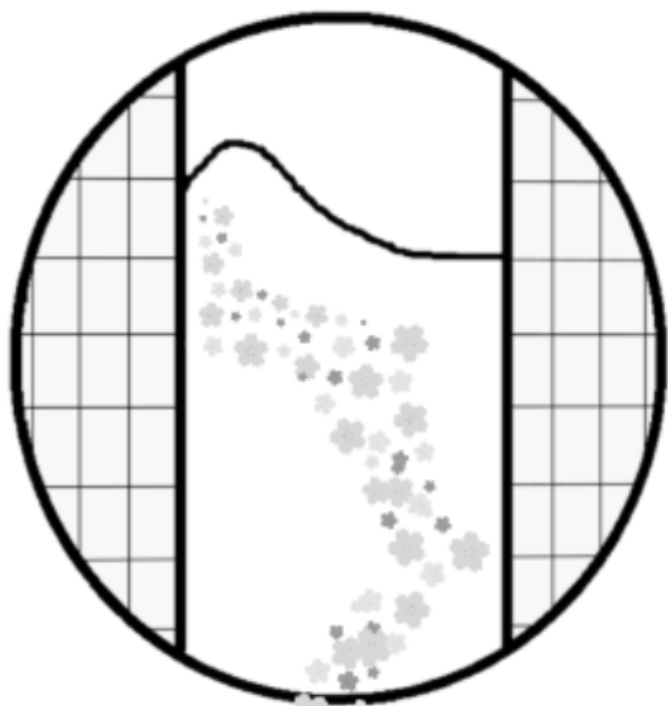


令和五年度 論文コンクール
「わたしはこう考える」

優秀作品集



京都市・区明るい選挙推進協議会
京都市・区選挙管理委員会



は　じ　め　に

京都市・区明るい選挙推進協議会及び京都市・区選挙管理委員会では、青少年を対象に政治や選挙に関心を持っていただくために、毎年、論文コンクール「わたしはこう考える」を実施しております。五十二回目を迎えた令和五年度は、十八校から七五三点の御応募をいただきました。この中から、最優秀賞及び優秀賞に選ばれました十点の作品をここに御紹介いたします。

なお、入賞となられた方々につきましては、お名前と学校名、学年を掲載させていただきました。作品募集にあたりまして、御後援いただきました京都新聞、京都府私立中学高等学校連合会及び京都市教育委員会の皆様の御協力に対しまして厚く御礼申し上げます。

また、作品の審査を務めていただきました審査員の皆様に対しましても深く謝意を表する次第であります。

令和六年二月

京都市・区明るい選挙推進協議会
京都市・区選挙管理委員会

目次

掲載作品

テーマ「京都市長になったら」

最優秀賞	峰松 野衣	(京都市立嘉楽中学校1年)		一
優秀賞	丹羽 賢立	(京都市立開晴小中学校7年)		二
優秀賞	上野 友花	(京都市立下鴨中学校2年)		三

テーマ「持続可能な社会のためにできること」

最優秀賞	伊田 瞬	(京都産業大学附属高等学校1年)		四
------	------	------------------	-------	---

テーマ「わたしにとって平和とは」

最優秀賞	山田 陽菜	(京都市立藤森中学校3年)		五
優秀賞	石井 咲音	(京都市立醍醐中学校1年)		六

テーマ「AIとどうつきあうか」

最優秀賞	矢根 希林	(京都市立下鴨中学校2年)		七
優秀賞	山内 瑛里加	(京都市立藤森中学校3年)		八

テーマ「わたしは怒っている」

最優秀賞	吉田 桃子	(京都府立北嵯峨高等学校1年)		九
優秀賞	津村 奈々	(京都府立洛東高等学校2年)		十

入賞者一覧				十一
-------	-------	-------	-------	----

講評		京都市教育委員会 指導主事 加藤 健		十二
----	-------	--------------------	-------	----

京都市長になったら

峰 松 野 衣

(京都市立嘉楽中学校一年)

京都という街で暮らしていると、この街は歴史や文化が根付いた「伝統と革新の街」だと感じる。そんな京都だが、近年は美しい街並みが失われつつあるのと同時に、京都にしかない街並みが、多くの都市で見られるような一般的な街並みへと変わってきている。もう一度京都の魅力を発信し、より良い街にしていきたいためにも、僕は京都市長として、三つの取り組みを提案する。

一つ目は電柱の工夫だ。僕はフランスに行った経験があるのだが、フランスの街では電柱を地下に埋めることで、建物を見るうえで障害物となるものを減らしている。その結果、建物だけでなく、空間全体が調和し、街の雰囲気そのものを味わうことができる。また、地震による電柱の倒壊など、電柱から起こる被害を減らすこともできる。つまり、この工夫によって、街の雰囲気を変えるだけでなく、街を守り、安心・安全な街づくりに繋げることもできるといえる。

二つ目は街の統一感だ。京都の昔ながらの家といえは京町家だが、最近では新築の家も多く、昔ながらの統一感が失われてきている。一方フランスでは、古い建物も残し、外装がある程度統一している。地域ごとに色や形が異なり、全く違う景色が見られるのがおもしろい。京都市でも、古い建物の全てを残すのではなく、内装を時代に合わせて変えていくことで、伝統を守りつつも、暮らしやすい街を作り上げることができるのではないだろうか。

三つ目は自動車の交通量についてだ。自動車は、人々にとって重要な移動手段で、生活には欠かせないものだ。そんな自動車だが、僕は観光地周辺での交通量の多さが問題だと感じている。交通量が多いと、公共交通機関である市バスを利用する人にも影響が出る。ここまで提案してきた二つの取り組みを実行できたとしても、安心して観光できなければ意味がない。フランスのように、市街地中心部で交通規制をすると、歩行者がのびのびと観光できる。京都市の大切な収入源だからこそ、全ての人に寄り添った観光産業の展開が必要なのだ。

ここまで三つの取り組みを紹介してきたが、それぞれにとって大切なのは、変えていくものとそうではないものを上手く組み合わせ、より良いものにしていくことだ。前に進まなければ何も変わらない。しかし、振り返ってみたときに、そこから学べることもたくさんある。そうして、市民全員でこの街を作ることこそが、京都市を前へと進める一歩となるだろう。歴史や文化が根付いた伝統と革新の街・京都を、千年の都を、おもてなしの心を、世界に誇れるものへとしていくために。

京都市長になったら

丹羽 賢 立

(京都市立開晴小中学校7年)

僕は京都市東山区に住んでいる。京都の東山と言えは、みんなが口をそろえて、「良い所に住んでいるね。いいなあ。」とつらやましそうに言う。それはなぜか。東山区には有名なお寺や神社がたくさんあり、鴨川や京都らしいお土産屋さん、抹茶のスイーツを食べることができるカフェなど、これぞ京都というものが一気に楽しめる町だからこそ、みんなのあこがれの町なのだと思う。その理由のとおりに、東山区には日本国内だけでなく、世界中の様々な国の人々が毎日たくさん訪れている。しかし、そのような多くの観光客が楽しんでる裏で、僕たちのような子どもをはじめ、多くの住民はとても困っているということを京都市長は一度でも考えてくれたことがあるのだろうか。

まず、困っていることのひとつが、子どもたちがのびのびと遊べる公園がなく、ボール使用禁止の公園がほとんどであることだ。少しでもボールを使つて遊んでいると、近所の住民に怒られ、最終的には学校に連絡され、先生にも怒られる。こんな肩身の狭い思いをして遊んでいる小中学生の子どもが日本にいるだろうか。「子どもは元気に遊びなさい」と大人は言うが、こんな環境でどうやって遊べばいいのか。大人の言っていることは矛盾しているように思う。

次に、東大路通の歩道の狭さに困っている。最近、自転車は車道を走るように注意されるが、車道を走ればマナーの悪い車の運転が

危なくて、気が気でないことがしばしばある。歩道は狭すぎて普通に歩くだけでも歩きづらく感じるが多々ある。特に、僕が住んでいる東山五条の交差点は、人であふれかえっていることがよくあり、正直に言つて観光客を邪魔だと感じる。コロナ禍を経て、また生活しにくい日々が始まり、休日以外に出ると観光客だらけでうんざりすることもある。

そこで、僕が京都市長になったらまず、住民の日常生活を重点的に変えていきたい。まずは、これからの社会を支えていく僕たちが子どもらしくのびのびと遊べるスペースを確保したい。ドーム型の施設で、壁全面は防音、屋根は開閉式にして、どんな天気にも対応できるようにしたい。また、その施設の中には子ども食堂などの施設を併設し、遊んだ後にみんなでご飯を食べたりしたい。

次に、歩道の拡張工事をしたい。観光客専用のレーンを作り、スムーズに生活ができるようにしたい。そうすれば、高齢の住民の人達も安心して移動できるようになると思う。

今の京都市長は観光にばかり目を向けていて、住民の思いが置き去りにされているように思う。せつかく、世界中の人々があこがれる町に生まれたのだから、もつと自分の町に誇りを持って生きられるまちづくりをしてもらいたい。今の京都市長ができないのであれば、僕が近い将来、京都市長になってそのことを実現したいと思う。

京都市長になったら

上野 友花

(京都市立下鴨中学校2年)

私が京都市長になったら、中高生の居場所づくりを活発化したいと思います。学校と塾以外で勉強できる場所を増やしたいです。なぜなら、私たちのような中高生は、放課後に過ごす場所が限られているからです。

児童館は中学生でも過ごせる場所として設置されていますが、利用している中高生はわずかです。その理由として、一つ目は、多くの児童館は十八時までしか利用できないこと、二つ目は、児童館のほとんどの活動が、学童クラブや乳幼児クラブなど、小学生以下を対象としていることが挙げられます。中学生の私にとっても、児童館は小さい子の場所というイメージです。

公立中学校では、教職員の働き方改革により、完全下校が年間を通じて十七時となりました。そのため、部活動の時間が短く、放課後の時間が長くなりました。共働きの家庭では、帰宅してから一人で過ごすなければいけない時間が長くなり、子どもも親も不安に思うことでしょう。塾や習い事がある人もいるけれど、家庭の経済的事情でそういったことに参加できず、有意義な時間を持ってない人もいます。中学生は家庭学習も大切になりますが、それらに一人で取り組むことはハードルが高く、習慣化するのは簡単なことではないと思います。

京都府外の大学に通う私の姉の学校では、無償で勉強を教えるボ

ランティア活動を行っていると聞きました。私はその話を聞いて、児童館でもそのような活動があれば、塾に通うことが難しい人でも交流しながら学習することができるようではないかと考えました。しかし、児童館職員の負担が大きすぎることは現在でも問題となっており、開館時間の延長や中高生の学習支援を現状の体制で行うことは困難だと思います。そこで、夜間の職員や中高生の学習支援を専門とするスタッフを配置したいと思います。ボランティアの大学生や地域住民を頼るのではなく、人員配置のための予算を組み、地域や運営時間で差がつくことがないようにしっかりとスタッフを確保することが大切だと考えます。

このように児童館利用の幅を広げることで、中高生が長くなった放課後時間を過ごせる場所を増やすことができると考えます。京都市では、京都市民共通の行動規範として、「京都はぐくみ憲章」(子どもを共に育む京都市民憲章)が制定されていますが、中高生には知られていないと思います。中高生ははぐくみ憲章で守られ、大切にされるべき子どもであると同時に、数年後は子どもを見守り、育む側となる存在です。そういった意味でも、中高生の居場所づくりは、「子どもを共に育む京都市民憲章」が実践される未来につながると考えます。

持続可能な社会のためにできること

伊 田 瞬

(京都産業大学附属高等学校一年)

七月の世界の平均気温が、観測史上最高になった。国連のグテーレス事務総長は、「地球温暖化の時代は終わった。地球沸騰化の時代が到来した。」と発言したというニュースを見て衝撃を受けた。最近の夏の暑さは危険だと感じる。毎日のように熱中症で亡くなった方のニュースが流れる。私は、この地球沸騰化という言葉に危機感を持たないといけないと思う。そうしなければ、人類が地球で暮らし続けていくのは不可能だと思う。

私は持続可能な社会を作るためには、大量生産・大量消費の社会を変えていかなければならないと思う。アパレル業界について考えてみた。私たちは流行の服を安い値段で買うことができるので、次々に新しい服を買い、いらなくなった服を処分する。ボーダレスジャパンによると、世界で一年間に捨てられてしまう衣類の量は、九万二千トン。枚数にして三千億着が捨てられ、最終的に焼却、埋め立てされている。

この大量の服の廃棄を減らすにはどうすればいいだろう。流行の服というのは、二十年で繰り返されているので、新しい服を買う前にまず、親が昔着ていた服を探してみるというだろう。また、古着の中から探すということも一つの手だ。古着を切ったり、つなげたりにして新しい形に作り直したりメイク古着が、古着好きに人気があるそうだ。また、W Fジャパンによると、一枚のコットンのTシ

ヤツが出来上がるまでに二千七百二十リットルもの水が使われており、淡水の生物の多様性に深刻な影響を与えているという。現在ヨーロッパなどでは既にこの問題が注目され、環境に配慮した持続可能なコットンの調達が進んでいるが、日本ではまだこうした問題がそれほど認識されていない。まずは、コットンが水環境に大きな影響を及ぼすこと。そして、サステナブルコットンという水や農薬の量、周辺環境の保全に十分注意した製品があることを知ることが大切だ。そして、環境に配慮した服を選択していくことが優良な企業を支援することにつながる。

世界では人口増加が止まらない。二〇五〇年には、九十七億人に達するとされ、今後、資源の枯渇や環境問題はますます深刻になると考えられる。今までのやり方では地球沸騰化を止めることはできない。これからの時代は、生産する側も消費する側も責任を持った行動をするべきだと思う。企業なら利益だけを追求するのではなく、環境に配慮した製造や販売をする努力が必要になる。一方で、私たちは消費者は、自分の欲だけを優先させるのではなく、地球に優しい商品を選ぶ必要がある。

わたしにとって平和とは

山田 陽菜

(京都市立藤森中学校3年)

「誰に見られることもなく、誰に語ることもできず、ただわすれ去られるだけ……。」これは、『ゲゲゲの鬼太郎』などで有名な水木しげるさんの『総員玉碎せよ』という本の中で、戦死していく兵士が死ぬ前に言った言葉です。私は小さい頃から『ゲゲゲの鬼太郎』が大好きで、「水木しげる記念館」や百七十七体もの妖怪のブロンズ像が立ち並ぶ「水木しげるロード」がある境港に何度も連れて行ってもらいました。そんな私にとって楽しい場所の中でずっと気になっていたのが、水木しげる記念館に展示されていた『総員玉碎せよ』のこの言葉が載っているページでした。水木しげるさんは左腕を失くされるなど、戦争で壮絶な経験をされています。この本は、その戦争経験をもとに描かれていて、漫画なので文章よりも鮮明に戦争の残酷さが伝わります。そしてこの言葉の場面は、自分が死んでいくことを誰にも知ってもらえず、知っているのはそこにある石や木だけだという深いさみしさと、何のために生きてきて何のために死んでいくかも分からないむなしさが表されていて、戦争が人の人生や大切なものを奪ったことを改めて思い知らされます。

私は今年、修学旅行で福岡県にある「大刀洗平和祈念館」に行きました。私たちと同じ年頃の少年兵が特攻機に乗って飛び立った場所です。私はここで平和宣言をし、その中には「私たちは今の暮らしが、戦争による多くの犠牲から成り立っていることを忘れてはな

りません。」という部分がありました。今の日本の平和は、戦争を経験した全ての人たちが私たちに残してくれているものです。戦争で亡くなった人たちは、自分の命に代えて大切な人や自分の国を守り、生き残った人たちは、日本に平和が続くように、世界が平和になるようにとその経験を語り伝えようとしてくれています。大切な人を亡くしたり、悲惨な情景を目の当たりにした経験を話すことは、本当にとってもつらくて苦しいことなので、私にはできないかもしれません。そんな戦争の経験を語り伝え続けてくれている人たちの思いは絶対に無駄にしてはいけないうし、平和宣言でも「平和と命の尊さを語り継いでいく」と宣言したように、私たちにはその思いや記憶を受け継いでいく責任があります。

戦争の反対が平和なのかは分からないし、私は戦争を知らないのですが、私には本当の平和がどんなものかは分からないかもしれません。でも、戦争は人間の平和を確実に奪っているし、戦争を経験した人たちが残そうとしてくれている「戦争のない世界」が私にとって平和なのだと思います。

戦争について知ることが本当の平和を知ることにつながり、その悲しさや愚かさを忘れないこと、伝えてもらった戦争の記憶を受け継いでいくことが、「戦争のない世界」＝「平和」をつくると思えます。私はこれからも戦争に関わったたくさんの人たちの思いを忘れずに、本当の平和について考えていきたいです。

わたしにとって平和とは

石井 咲音

(京都市立醍醐中学校1年)

小学校の修学旅行で広島に行きました。その時に初めて、戦争ということとまじめに向き合いました。平和を考えるときにいつも対照的に戦争という言葉が頭に浮かんでいますが、私には疑問が少しありました。平和な世の中や平和な生活とは、戦争がないということだけで成り立つのかということです。最低限戦争の無い国や世界でないといけないと思いますが、もう一つ大切なことは心の平和ではないかと思っています。その二つがあつてこそ、本当に平和を私は感じられるような気がします。

心の平和とは、状況ではなくて、自分自身の心のあり方です。同じ状況にいても人それぞれ感じ方が違うので、それを平和だなあと考えるのか、それを不安だと思うのか、何かが違うと思うのか難しいと思うのですが、例えば自分に何の悩みもなく毎日同じ生活をしていけている毎日だったとして、もしも自分の周りで困っている人や悩んでいる人、辛そうな人がいたとしたら、みんなはその人が気になりますか？ 自分のことじゃないからと知らんぷりをしていますか？ 私にはできません。見て見ぬふりができません。自分に解決できるかではなく、その物事に対してどれだけ考えることができるかだと思っています。大切なのは結果ではなくて、その過程の努力なんだと思っています。

心の平和の反対は、私は無関心だと思っています。自分たちが知

らない時代の戦争も、私たちは無関心であつてはいけないこと。今、世界で起こっている戦争も、知らない、分からないで終わらせることじゃないと思います。祖父や祖母の認知症も私には関係ないで終わってはいけないし、学校や社会で起こるいじめ問題も、自分には無関係だと思わないこと。何かを変えることができなくても、自分に何ができるのか考えていく。目で見えていることだけでなく、見えない部分もしっかり自分で考えて答えを出したい。そう考えていけば、この先自分が何かの問題に巻き込まれても、一つずつ解決への答えを出すことができるんじゃないかと思いました。それが私の考える心の平和です。心の平和を周りの人たちが忘れずに持ていければ、世の中の無関心が減っていくのではないかと思います。どんな小さなことでも誰かが誰かのために考えて行動することができると優しい世の中、それが私にとつての平和なのです。みなさんも、もし自分の近くに困っている人、辛そうだったりしたら、どうか自分には関係ないではなく、自分にも何かできることがあるかもしれないと思つてほしいです。そういうふうにみんなが思つていければ、きっと優しい世の中が消えないと思っています。

AIとどうつきあうか

矢根 希林

(京都市立下鴨中学校2年)

私は文章を書くのが好きだ。どんな構成で書くのか、どんな言葉を使うのか、どうすれば言いたいことが伝わるか。そんなことを考えながら言葉を紡ぎ出す時間は本当に楽しい。

だが、世間はそうではないらしい。作文の宿題が出れば顔をしかめ、テストの解答用紙に数百字詰め of 解答欄を見つけては落胆する。文章と呼ばれるものはできるだけ書きたくない……。それが、一般的な中学生だとか。いや、中学生だけではないだろう。好き嫌いは別としても、文章を書くという行為を避けたがる人は全世代に一定数いる。そんな人たちはどうするのか。親に頼むか、友達のものを書くか。いや、そうではないだろう。人工知能に頼む、それが今の時代というものだ。

人工知能を最大限使用することに反対する気はない。無駄な正義感を発揮し、人工知能を使った不正を止めるつもりもない。ただ、人工知能に頼って文章を書いた人は損をしていると思うだけだ。

損をしている、とはどういうことか。チャットGPTのような人工知能に頼めば、人が書いたものと寸分違わぬものが出来上がるだろう。そして、それを原稿用紙に写し、さも自分が書いたかのような顔で提出すれば課題は完了する。だが、その人は何一つ苦労せず、何一つ自分で考えずその文章を完成させたわけで、もしかすると人工知能が書いてくれた文章をじっくり読み直すことすらないかも

しれない。そんなふうに文章を書き終えるなど、実に損だと思う。その人は、自分の言いたいことにぴったりの言葉を見つけた時の興奮も、悩み、考え抜き、自分の力で文章を書き上げた後の感動も味わっていないのだから。たとえその文章が褒められても、賞をとっても、きつと嬉しくないだろう。そんな経験をするくらいなら、私は頼まれても人工知能を使って文章を書きたくない。

私は人工知能というものは、人間をサポートするために存在すると思う。そんな人工知能に頼り切って、無感情で文章を書くなど本当に損をしている。そう、いけないことだからやめた方が良くとか、自分のためにならないとかそういうことではなく、文章を書く楽しさを味わえないなんて、損でしかない。それに、その文章で何かしらの賞に応募するとしたら、それはその賞に対する冒涇だと思う。

私はたまたま文章を書くことが好きで、たまたま少しは得意でもある。だからこそこんな意見を持つのもかもしれない。勿論、世間には文章を書くのが嫌いな人も苦手な人もいることは理解している。だが、文章というものに大事なものは、その上手さではなく、書き手の実感がこもっているかだと思う。下手な文章でも、実感がこもっていれば読み手は納得し、共感する。だが、人工知能の書いた無感情な文章はどうだろうか。

私は、文章を書くことに限らず、最初から最後まで人工知能に頼って何かを完成させる人は、損をしていると思う。人工知能には頼らず、緩く付き合うくらいがいいのではないだろうか。

AIとどうつきあうか

山内 瑛里加

(京都市立藤森中学校3年)

AIとこれからどのように付き合っていくのかということについて私は、AIを上手く使う能力をもったうえで、利用することが大事だと考える。そう思った理由は、AIを上手く使う能力を持たないままだと、それを使うことによって得られる効果を存分に引き出すことができないからだ。

そもそもAIとは、人工知能とも呼ばれ、主に人間の知能をコンピュータによって再現する技術のことである。例えば、お掃除ロボットや車の自動運転に用いられている。最近では、ChatGPTや画像生成AIなどにも用いられている。

このように、AIと一言でいっても様々な種類があるが、特に最近登場したChatGPTは誰でも無料で使えるため、学生の私たちにもとても身近な存在である。ChatGPTは、今までの専門的なAIとは異なり、万能に近いAIである。例えば、「今日の献立は何がいい?」というような答えが決まっていけない質問でも、献立をレシピと共に提示してくれるという使い方ができる。このような有効な使い方ができる反面、宿題や感想文なども一瞬で書くことができるため、悪用することも簡単である。AIは、有効に活用することもできれば、悪く活用することもできる。

では、AIを有効に活用するにはどうすればいいのか。私は、AIを単なる検索エンジンやプログラムとして捉えるのではなく、自

分の分からないところを深める相手として付き合うことが重要だと考える。例えば、ChatGPTに代表される対話相手のAIでは、単純に答えを聞く質問をするのではなく、「この問題について詳しく教えて」という聞き方をする。そうすることで、自分が求めている答えだけでなく、それに関連した知識にも触れることができる。

また、対話の相手としても十分な効果がある。文献についての意見交換や議論を交わすだけでなく、悩みごとの相談にも乗ってくれる。

AIは特に、勉強面で有効に活用することができる。「自分の苦手な分野の問題を出して欲しい」と問いかけると、教科を問わず、問題を答えとともに出題してくれる。無料で様々な問題を出題してくれることは、経済的に塾に通うことが難しい家庭の生徒や受験生にとっては、非常に魅力的なものであるに違いない。実際に私も何度かChatGPTに数学や社会の問題を出題してもらったことがあるが、ある特定の分野の問題演習をこなしたいと思ったときに気軽に利用できるということは非常にありがたいと、身をもって経験することができた。

このように利用することで勉強だけでなく、精神的な面でも支えてもらうことができるので、これが理想的なAIの使い方だと考える。

わたしは怒っている

吉田 桃子

(京都府立北嵯峨高等学校1年)

九月一日は何の日か知っているだろうか。十八歳以下の自殺者が一年で一番多い日である(文部科学省 十八歳以下の日別自殺者数より)。

この時期になると毎年、「夏休み明けは自殺者増加」という報道を目にする。生活リズムの乱れが要因だとも考えられているようだ。

そんな中、学校ではよく子どもホットラインなどの悩みを相談できる場所を教えてくれる。テレビやニュースサイトでも、著名人の訃報があると必ず「辛いこと、苦しいことがあれば周りの人にすぐに相談してください。」という一文が付け加えられるようになってきた。

しかし、これらは今を生きる私たちが必要としていることではないように思う。

相談すれば気が楽になることぐらいほとんどの人が知っている。だが、大人になればなるほど相談することに対して奥手になってはいないだろうか。私自身、小学校低学年の頃、嫌なあだ名を付けられて悩んでいたが、母や先生に相談し無事解決することができた。だが、最近は嫌なことがあっても自分の中に閉じ込めてしまっている。人前で泣くことや弱音を吐くことに知らず知らずのうちに制限をかける年頃だから、相談することを促しても、なか

なか行動に出ないのではないだろうか。それに、今はSNSが発達している。現実の友達とは別にオンライン上だけの友達がいる人も少なくないだろう。私なら現実の友達に勇気を出すより、気が楽なオンライン上の友達に相談するだろう。

自殺を図った人を自殺企図者という。この人たちの心理状態の一つとして、心理的視野狭窄というものがある。苦しい状態が続いて、自殺以外の解決策が見えなくなる状態を指す(北九州市いのちとこころの情報サイトより)。このような人たちに、相談してほしいという願いは果たして届くのだろうか。

もちろん完全に届かないとは思わない。前述のサイトにも、具体的な問題の解決法をその人に示すことが役立つと書かれていた。しかし、この世の中に必要なのは、受動的態度ではなく、主体的態度ではないか。相談等で死を選んでしまう理由を無くすのではなく、生きようと思える理由を一緒に探し与えること。この姿勢が大切だと私は考える。

新型コロナウイルスの影響で孤独を感じた人も多い。実際に自殺者数も増えた(厚生労働省 警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等より)。コロナ禍の出口が見えた今だからこそ、共に歩んでいこうとすることが重要だと思う。大切な人を失わないために。

私は怒っている

津村 奈々

(京都府立洛東高等学校2年)

あなたはデザインが好きだろうか？ 私はよく五五〇mlの水を自販機で買うことがあり、その都度、デザインに感心している。だから私はペットボトルのラベルに怒っている。というのも、ラベルがあることによってペットボトルのデザインがよく見えないうえ、無駄にプラスチックを使っていると考えるからだ。

はじめに私が調べて分かったラベルの存在意義は二つある。

まず、日本では食品表示法により、容器入り飲料(加工食品)に名称や原材料名、製造者等を記載しなければならないと決められている。その記載をラベルが担っているということ。だが、箱単位で販売されるときのみ、ラベル表示が不要となる。記載事項は全て箱に記されるからだ。

次に、ラベルはそれがどの商品で、どのメーカーのものなのかを識別できるように貼られているということ。一般的に飲料は容器が透明・半透明のため、色で大体の中身の味が想像できるように工夫されている。一方でお茶やコーヒーは、どの茶葉なのか、無糖か加糖かを色だけで判別ができない。そこでラベルが必要とされる。

さて、最初に挙げた食品表示法について、記載を無くすことは無理だ。しかし、単品のペットボトルを見ると、記載事項は意外にもコンパクトに書かれており、PRやデザインが半分を占

めている。また、ボトルのサイズが大きくなるにつれてそれらも増えている。このことから余分なPRやデザインを無くし、記載事項だけにラベルを使うべきだと考える。

次は、メーカーの識別についてだ。ラベルが無いと会社の個性が出せないという人もいるだろう。確かにラベルがあるほうが色も自由に使える、派手にすれば人の目に留まりやすくなる。しかし実際に日本コカ・コーラ株式会社の《い・ろ・は・す》は、ペットボトルに自社の文字とマークを刻み、黄緑のキャップとスタイリッシュなデザイン、さらにラベルを無くしたことでグッドデザイン賞も受賞している。よって、ラベルが無くても形を変えればメーカーの識別はできるといえる。

ところが、前述のとおり、箱単位で売られている飲料のみラベルを無くせるのだ。持ち運びに重宝される五五〇mlの飲料は、水分補給程度に買う人のほうが多いため、このデザインの醍醐味である「ラベルレス」を発揮できない。したがって、私はラベルを無くすのではなく、必要最低限にして欲しいと願う。

ラベルを無くすといった大胆なデザインも素敵だと思う。しかし、単品のものに対してそれはできない。このことを踏まえて、多くの飲料会社に、ラベルには記載事項だけを、ペットボトルには会社の個性を出せる環境にグッドなデザインで販売してもらいたい。

入賞者一覧

〈テーマ別 最優秀賞・優秀賞・入選の別、学年、氏名の五十音順〉

◆…最優秀賞 ◇…優秀賞 マーク無…入選

「京都市長になったら」

- ◆峰松 野衣 (京都市立嘉楽中学校1年)
- ◇丹羽 賢立 (京都市立開晴小中学校7年)
- ◇上野 友花 (京都市立下鴨中学校2年)
- 大橋 海音 (京都市立藤森中学校3年)
- 小林 奏太 (京都市立太秦中学校3年)

「持続可能な社会のためにできること」

- ◆伊田 瞬 (京都産業大学附属高等学校1年)
- 日比野 陽菜 (京都市立下京中学校1年)
- 崎田 美咲 (京都市立東山総合支援学校1年)
- 影山 陽和 (京都府立北嵯峨高等学校2年)
- 柴田 花凜 (京都明德高等学校3年)

「わたしにとって平和とは」

- ◆山田 陽菜 (京都市立藤森中学校3年)
- ◇石井 咲音 (京都市立醍醐中学校1年)
- 開原 汐梨 (京都市立醍醐中学校1年)
- 加地 真衣花 (京都市立藤森中学校1年)
- 川端 玲菜 (京都市立醍醐中学校2年)
- 大西 蓮 (京都市立開晴小中学校9年)
- 内藤 実保 (京都産業大学附属高等学校1年)
- 久保 美涼 (京都府立北嵯峨高等学校2年)
- 福井 京夏 (京都産業大学附属高等学校2年)
- 大久保 柚希 (京都府立北嵯峨高等学校3年)

「AIとどうつきあうか」

- ◆矢根 希林 (京都市立下鴨中学校2年)
- ◇山内 瑛里加 (京都市立藤森中学校3年)
- 久保 実生 (京都市立上京中学校2年)
- 伊東 千尋 (京都市立醍醐中学校3年)
- 伊藤 悠斗 (京都市立下京中学校3年)
- 梅岡 航大 (京都市立藤森中学校3年)
- 栗山 ことね (京都市立松原中学校3年)
- 酒井 空 (京都市立西京高等学校附属中学校3年)
- 酒井 友衣里 (京都市立醍醐中学校3年)
- 高村 結希 (京都市立上京中学校3年)
- 盆子原 梨乃 (京都府立洛東高等学校1年)
- 柏井 一葉 (京都府立北嵯峨高等学校2年)
- 北川 日和 (京都府立北嵯峨高等学校2年)
- 今泉 翔 (京都産業大学附属高等学校3年)

「わたしは怒っている」

- ◆吉田 桃子 (京都府立北嵯峨高等学校1年)
- ◇津村 奈々 (京都府立洛東高等学校2年)
- 深澤 ゆの (京都市立上京中学校2年)
- 井川 芽以 (京都府立北桑田高等学校1年)
- 永山 功瑛 (京都府立洛東高等学校1年)
- 平井 美友乃 (京都府立北嵯峨高等学校2年)

講 評

令和五年度「論文コンクール」の審査を終えて

京都市教育委員会事務局学校指導課

指導主事 加藤 健

今年度の応募状況は、中学生が四六〇編、高校生の応募が二九三編でした。また、それぞれのテーマの応募数は、テーマ1「京都市長になったら」が八六編、テーマ2「持続可能な社会のためにできること」が一四六編、テーマ3「わたしにとって平和とは」が二一七編、テーマ4「AIとどうつきあうか」が二〇八編、テーマ5「わたしは怒っている」が九三編でした。SNS等での短い言葉のやり取りが中心になってからも人が日々の生活の中で読み書きする文字の「総量」は以前とあまり変わっていないなどと言われることがありますが、一〇〇〇字を超えるひとまとまりの文章を書く機会というのはあまりないという人も多いでしょうし、なかなか大変なことだったかと思います。応募してくださったみなさんに敬意を表するとともに、各学校で日頃から指導くださっている先生方に厚く御礼申し上げます。

テーマ1「京都市長になったら」では、まさに今年度京都市長選挙が行われるということで、実際の選挙でも争点になりそうな観光客の爆発的増加に関するところや京都市の財政に関する内容など、個人の興味関心だけでなく社会を意識したものが多かったのが印象的です。最優秀賞の峰松野衣さん（京都市立嘉楽中学校）の文章は、訪れた経験のあるフランスの街と京都を比較しながら、具体的な取組について論じており、構成もはつきりしていて読みやすいものになっていました。峰松さんは京都を「世界に誇れるものへとしていくために。」という言葉で締めくくっていましたが、テーマ1の作品の多くから京都が好きであるという思いが伝わってきました。

た。これは書く際も話す際も同じだと思っただけなのですが、本気で伝えようと思っただけで伝えなければ、相手には伝わらないのではないのでしょうか。もちろん多くの言葉を知ることや表現のテクニックを学んでいくことは大事ですが、伝えたい思いがあつてこそ知識や技術が生きてくるのだと思います。中学生、高校生のみなさんが京都市のこれからについて本気で考えてくれたことがとてもありがたく、頼もしく感じられました。

テーマ2「持続可能な社会のためにできること」では、SDGsを取り上げつつ論じたものが多く見られました。複数の目標がありますが、中には我々にとって非常に身近な課題も含まれており考えやすいところであったように思います。一方で、どれも地球上全ての人々に関わる大きな課題であり、あまり話を広げすぎると論点がぼやけてしまう可能性があります。最優秀賞の伊田瞬さん（京都産業大学附属高校）は、「衣服」に焦点を当てて、生産や廃棄に関わるデータも示しながらわかりやすく論じてくれました。伊田さんのように、本テーマでは他のテーマと比べても様々なデータや資料を引用しながら主張を述べているものが多かったです。「論文」にもいろいろありますが、基本的には読み手を説得することが求められています。自分の言いたいことを明確にするとともに、その主張に説得力を持たせるための適切な根拠を示していけるようにしましょう。

テーマ3「わたしにとって平和とは」は、今回最も応募数の多かったテーマでした。最優秀賞の山田陽菜さん（京都市立藤森中学校）は戦争を経験した人たちの「ことば」から受け取った思いを力強く表現してくれました。語り継いでいくことの大切さや、それに関わる者としての責任について、戦争を知らない大人である私も考えさせられました。本テーマ全体に関して言えば、「当たり前だと思っていたけれど」や「考えたことがなかったけれど」という表現が多く見られたのが特徴的だと感じました。戦争は起こっていないけれども今の日本は平和だとは言えないのではないのかということを考えているものもありました。書くためにはまず考えることが必要ですが、書くことによつてさらに考えることが促されていくということもあります。書くことの効用の一つはここにあります。

テーマ4「AIとどうつきあうか」には、テーマ3と同じく二〇〇を超

える作品の応募がありました。ここ一年ほどで様々な生成AIが急速な進歩を遂げ、私たちの生活全般に大きな変化をもたらし始めています。最優秀賞の矢根希林さん（京都市立下鴨中学校）は、AIに任せてしまうことによって人間が損をする部分があるのだという主張を展開していました。AIに対する過度な肯定も否定もせず、率直に人間として大切にしたいことを述べているところに好感を持ちました。矢根さんのように我々人間のあり方について改めて考えたり捉え直したりしたものはほかにも多く見られ、AIがそれだけ人間存在に大きな影響を与えうるものであるのだということを考えさせられました。

先ほどAIが急速な進歩を遂げていると書きましたが、それは現在進行形で起こっていることであり、みなさんが論文を書いた時と比べても状況は大きく変化しています。今回の論文で「AIは人間とは異なり〇〇はできないので……」と書かれていたようなことの中にもすでに可能になっていることがあるかもしれません。我々自身のアップデートも必要ですね。

テーマ5「わたしは怒っている」は題材が多岐にわたり、単純に興味深く、共感できるものも多くありました。そのような中で、共感しやすい課題意識からさらに一步踏み込んでいたものや、自身の怒りや不満を解消するために建設的な提案をしてくれたものに高い評価が付いたのではありませんかと思えます。最優秀賞の吉田桃子さん（京都府立北嵯峨高校）は、辛いことや苦しいことがあったときに誰かに相談することの大切さはみんな十分わかっていて、それでも行動に移せない人がいるのだから窓口を用意するだけでは不十分だということを力強く述べていました。「死を選んでしまう理由をなくすのではなく、生きようと思える理由を一緒に探し与えること」が必要であるという主張にはっとさせられました。

最後に、これは多分に自戒も込めてということになりますが、文章を書いた後に自身で読み直して確認する習慣をつけることの大切さに少し触れておきます。文章の中に誤字や脱字、文のねじれなどがあると、せっかくいいことを主張していても少し説得力が落ちてしまうことがあります。これはもったいないですね。言い間違いは防ぎようがない場合もありますが、書き間違いは読み返して確認することで相当程度なくすることができ

ます。今回のようなコンクールに限らず、自分の書いた文章をきちんと自身で読み直して間違いがないかチェックしてから読み手に届けていくというのは自分の言いたいことを伝わりやすくする行為であるとともに、読み手に対して敬意を払うことだとも言えると思っています。時として自分の文章の読み手は名前も顔も知らない人だということがありますが、今回みなさんの文章を読ませていただいた者の感想として、そのような人たちのことも考えて行動できるようにすることは、持続可能な社会や平和な社会を築いていくうえでも大事なことであると言えます。

令和5年度 論文コンクール 【わたしはこう考える】 作品募集

京都市・区明るい選挙推進協議会及び京都市・区選挙管理委員会では、次代を担う若い方に政治や選挙、身のまわりの問題について考え、意見を述べていただけるよう論文コンクールを実施しています。

この機会に、改めて社会に目を向けて、あなたが感じていること、言いたいことを自由に表現してみませんか？

テーマ (次の中から1つ選択)

1. 京都市長になったら
2. 持続可能な社会のためにできること
3. わたしにとって平和とは
4. AIとどうつきあうか
5. わたしは怒っている

応募資格

市内在住又は市内に通学・通勤している
中学生以上19歳未満の方
(令和6年3月31日現在)

字数 本文1,000字～1,200字 厳守

(400字詰原稿用紙に縦書き)

原稿用紙の1行目にテーマ、2行目以降に学
校名・学年・氏名(ふりがな)を必ずお書き
ください。

※生徒以外の方は、氏名(ふりがな)・年齢・
連絡先(電話番号)をお書きください。

他の論文等を引用した場合は、出典を明記す
る又は引用であることが分かるように記述
すること。

応募期間 令和5年6月16日(金)～
9月15日(金)

※提出された作品は返却しません。

入賞 主催者代表と学識経験者で審査を行い、
入賞作品を選定します。

●最優秀賞(5点)・・・賞状及び賞品

●優秀賞(5点)・・・賞状及び賞品

●入選(30点)・・・賞状及び賞品

●京都新聞賞(5点)・・・賞状

※最優秀賞の5点に京都新聞賞を授与
(京都新聞紙上に作品を掲載予定)

入賞者には各学校を通じて結果を通知するととも
に、入賞者の学校名、学年及び氏名を広報発表する。

最優秀賞・優秀賞の作品を紹介する優秀作品集を作
成し、市内図書館等に配布するとともに、京都市選挙
管理委員会のホームページに掲載する。

提出先・問合せ

京都市選挙管理委員会事務局内

論文コンクール担当(電話 075-222-3589)

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上

上本能寺前町488番地 京都市役所分庁舎

※提出は各学校を通じて又は直接、京都市選挙管
理委員会事務局へ送付してください。

ホームページ「選挙フレンズ」

& 「知ッテル!?選挙」

選挙について気軽に楽しく学べるホームページです。
選挙クイズや、SNSで使える「めいすいくんスタ
ンプ」画像のダウンロードなど、選挙フレンズ 検索
コンテンツ盛りだくさん。

知ッテル!?選挙 検索

《選挙クイズにチャレンジ》

Q. 京都市長の任期は何年でしょうか？

ア 3年

イ 4年

ウ 5年

答えは、「めいすいくん」が持っている
カードをみてね → → →

明るい選挙のキャラクター
選挙のめいすいくん



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

主催 京都市・区明るい選挙推進協議会 京都市・区選挙管理委員会
後援 京都新聞 京都府私立中学高等学校連合会 京都市教育委員会
発行 令和5年6月 京都市選挙管理委員会事務局
京都市印刷物 第054184号

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



わが国の選挙制度 しくみと歩み



日本の選挙制度が現在のような形になるまでには、政治への参加を求めるたくさんの方たちの努力がありました。ここで、日本の選挙制度の変遷を振り返ってみましょう。

自由民権運動

大正デモクラシー

婦人参政権運動

軍部の台頭



1874 (明治7年)	板垣退助ら「民選議院設立建白書」を提出
1881 (明治14年)	国会を開設する旨の勅諭
1889 (明治22年)	大日本帝国憲法 を発布 議院法、衆議院議員選挙法、貴族院令を公布
1890 (明治23年)	第1回衆議院議員総選挙 の実施 300人の民選議員誕生 (選挙資格は「 満25歳以上、直接国税15円以上を納める男子 」→ 有権者数は人口の約1%)
1900 (明治33年)	衆議院議員選挙法改正 (選挙資格は「 満25歳以上、直接国税10円以上を納める男子 」→ 有権者数は人口の約2%)
1919 (大正8年)	治安警察法公布 (社会主義的な活動禁止) 衆議院議員選挙法改正 (選挙資格は「 満25歳以上、直接国税3円以上を納める男子 」)
1925 (大正14年)	男子普通選挙制 成立 (選挙資格は納税額に関係なく満25歳以上のすべての男子) 治安維持法公布
1928 (昭和3年)	第16回衆議院議員総選挙 (有権者数が人口の20%を超える)
1929 (昭和4年)	ニューヨークの株式大暴落 → 世界的経済恐慌
1941 (昭和16年)	太平洋戦争勃発
1942 (昭和17年)	第21回衆議院議員総選挙 (軍部支持の翼賛政治体制協議会が推薦する候補者が議席の8割を占める)
1945 (昭和20年)	ポツダム宣言受諾 衆議院議員選挙法改正 (女性の参政を認め、満20歳以上の全ての国民が選挙権を有する「 完全な普通選挙 」が実現)
1946 (昭和21年)	日本国憲法 公布 貴族院の廃止
1950 (昭和25年)	各選挙法を一つにまとめた「公職選挙法」公布
1994 (平成6年)	公職選挙法改正 → 衆議院議員選挙に 小選挙区比例代表並立制 を採用 (70年ぶりの大改正)
1996 (平成8年)	公職選挙法改正後初の衆議院議員総選挙 (過去最低の投票率)
1997 (平成9年)	公職選挙法改正 → 投票時間の延長等の投票環境向上策
1998 (平成10年)	公職選挙法改正 → 在外選挙制度を創設 (衆議院及び参議院の比例代表選出議員の選挙のみ)
2000 (平成12年)	公職選挙法改正 → 参議院比例代表選出議員選挙に非拘束名簿式を採用
2002 (平成14年)	全国初の電子投票 岡山県新見市
2003 (平成15年)	公職選挙法改正 → 期日前投票制度 の創設 郵便等による不在者投票における対象者の拡大及び代理記載制度の創設
2006 (平成18年)	公職選挙法改正 → 在外選挙の対象となる選挙の拡大 (衆議院及び参議院の選挙区選出議員の選挙) 国外における不在者投票制度の創設 南極地域観測隊の隊員等のファクシミリ装置による投票
2013 (平成25年)	公職選挙法改正 → インターネット選挙運動の解禁 成年被後見人の選挙権の回復
2015 (平成27年)	公職選挙法改正 → 選挙権年齢を 満18歳以上 に引き下げ (施行は公布の1年後)
2016 (平成28年)	選挙権年齢引き下げ後京都市で初の選挙 (第24回参議院議員通常選挙)
2018 (平成30年)	公職選挙法改正 → 参議院比例代表選出議員選挙に 特定枠 制度を導入
2022 (令和4年)	最高裁判所裁判官国民審査法改正 → 最高裁判所裁判官国民審査の在外投票が可能

京都市選挙管理委員会 ホームページのご案内



選挙について楽しく学べる二つのホームページを公開しています。

みなさんの訪問をお待ちしています。

京都市選挙管理委員会



選挙フレンズ

選挙はわたしたちのよりよい生活や社会にかかわるとても大切なものです。政治に参加するための手段である選挙について楽しく学んだら、選挙フレンズ検定にチャレンジしてね。

将来は政治家になりたい人！
具体的にどうしたらいいか
調べてみてね。

知っているようでよく知らない、
そんな選挙のあれこれをご紹介します！

きれいな選挙のための
「三ない運動」を
知っていますか？



京都市 選挙フレンズ 検索



新有権者向け

選挙のあれこれまとめサイト

知Qッテル!? 選挙

民主主義を維持していくためには、有権者のみなさんが選挙で投票することが重要です。
しかし、現在の日本では投票率は必ずしも高くありません。あなたのまわりに選挙や政治に興味がない友達はいませんか？

SNS で使える
めいすいくんスタンプをプレゼント!!



ありがとう



京都市 知Qッテル!? 選挙 検索



明るい選挙 出前授業



将来の有権者である児童・生徒・学生の皆さんに社会の一員であるという自覚を持ってもらい、政治・選挙の意義や重要性などを学習していただくことを目的に、

事務局職員が京都市内の小・中・高等学校や大学等に出向いて「選挙講座」や「模擬選挙」などを行っています。



演説・討論



投票

クイズ



申込方法等は、京都市公式ホームページ「京都市情報館」をご覧ください。

京都市 明るい選挙出前授業 検索



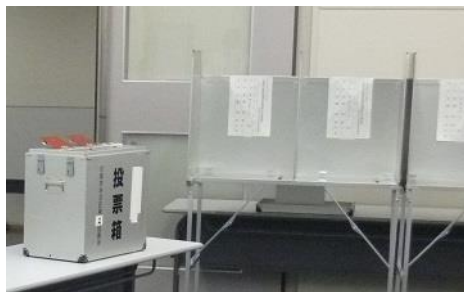
選挙物品 貸出事業



京都市内の学校等に対し、実際に選挙で使用される選挙物品の貸し出しを行っています。生徒会役員選挙等で活用してください。

【貸出物品】

- ・ 投票箱
- ・ 投票用紙記載台 等



申込方法等は、京都市公式ホームページ「京都市情報館」をご覧ください。

京都市 選挙物品貸出制度 検索



その他



令和4年度は、京都市動物園「8代目アニマル園長選挙」で、ほんまもんの投票箱と投票台でリアルな投票を体験していただきました。



大好評!!



投票にきてくれた人には
オリジナル啓発グッズのプレゼント

京都市・区明るい選挙推進協議会
京都市・区選挙管理委員会

発行 京都市選挙管理委員会事務局
令和6年2月
京都市印刷物 第053137号